

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	事業所と地域の繋がりが少なく、新興住宅地である為高齢者が少なく、事業所運営についての理解が少ない。	事業所が地域の一員として日常的に交流出来るようになる。	近接する保育所との交流を実現し、これを足がかりとして交流を深める。保育所を訪問し事業所への訪問をお願いする。又、保育所の運動会等を見学させてもらう等の働きかけを行い交流を深めて行く。	3ヶ月
2	23	利用者一人一人の思いや暮らしの希望や意向の把握不十分である。	利用者の個別の思いや暮らしの希望、意向の把握の方法をシステム化し統一する。	スタッフが小さなメモ帳を持ち利用者の何気ない小さなつぶやきをを記録する。又、利用者ごとの担当を決め、一人一人の深い観察を行う。	3ヶ月
3	35	災害に対して訓練や地域との連携や協力体制が取れていない。	定期的な訓練の実施と災害時に協力が得られるような関係を築く。	運営推進会議を通じて自治会との話し合いを続けて行く。	12ヶ月
4	54	利用者にとって現在の居室が居心地良く過せる配慮がなされているか考える必要がある。	各居室の室内配置について再検討し窓外の景色を楽しむ事が出来るようにする。	各居室の室内配置を再検討した結果、第一歩として二部屋のベッドを入れ替え、窓外の景色を利用者が楽しめるようになった。ご家族と話会い馴染みの物の持込をお願いします。	3ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。